様式第１号（第６条関係）

工事履行報告書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | | |
| 工　期 |  | | |
| 日　付 |  | | |
| 月　別 | 予定工程　　　％  （　　　）は工程変更後 | 実施工程　　　％ | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （記載欄） | | | |

住所

受注者

氏名　　　　　　　　　印

様式第２号（第８条関係）

債権譲渡承諾依頼書

　　年　　月　　日

大野市長　　　　殿

受注者（債権譲渡人）　住所

氏名　　　　　　　　　実印

（債権譲受人）　住所

氏名　　　　　　　　　実印

　受注者（債権譲渡人）が発注者に対して有する契約書［発注者と受注者との間で締結された　　　年　月　　日付けの工事請負契約書］に基づく下記の工事請負代金債権を、

（以下、債権譲受人という。）に譲渡することにつき、大野市工事請負契約約款（以下「約款」という。）第５条第１項ただし書に規定する承諾を賜りますようご依頼申し上げます。

　債権譲受人においては、本譲渡債権を担保として、受注者（債権譲渡人）に対し当該工事の施工に必要な資金を融資するとともに、担保の余剰をもって保証事業会社が有する金融保証にかかる求償債権を担保するものとします。

　なお、約款第４４条に規定する瑕疵担保責任は当然のことながら受注者（債権譲渡人）に留保されることを申し添えます。

記

１．工事名

２．工事場所

３．契約締結日　　　　　年　　月　　日

４．工期　　　自　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　至　　　　　年　　月　　日

５．　（１）請負代金額　　　金　　　　　　円

（ただし、契約変更により増減が生じた場合は、変更後の額による）

　　－（２）前払金額　　　　金　　　　　　円

　　－（３）中間前払金額

　　　　　　及び部分払金額　金　　　　　　円

　　　（４）債権譲渡額　　　 金　　　　　　円（　　　　年　　月　　日現在見込額）

（ただし、契約変更により増減が生じた場合は、変更後の額による）

様式第３号（第９条関係）

債権譲渡整理簿

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 承諾  番号 | 申　請  年月日 | 承　諾  年月日 | 工事名 | 請負者 | 請負額 | 債権譲受人 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

所属　　　　　部　　　　　課

様式第４号（第９条関係）

第　　　　　号

　　年　　月　　日

（債権譲渡人）　　　　　　　　　殿

（債権譲受人）　　　　　　　　　殿

大野市長　　　　印

債権譲渡承諾書

　上記につき、公共工事にかかる工事請負代金債権の譲渡については、工事完成引渡債務不履行を事由とする工事請負契約の解除をもって債権譲受人に対抗できる旨及び下記事項について不服を留めて、大野市工事請負契約約款（以下「約款」という。）第５条第１項ただし書の規定により承諾します。

　なお、本承諾によって約款第４４条に基づく受注者（債権譲渡人）の責任が一切軽減されるものではないことを申し添えます。

記

１．工事名

２．工事場所

３．契約締結日　　　　　　　年　　月　　日

４．譲渡される受注者（債権譲渡人）の工事請負代金債権の額は、本件請負工事が完了した場合においては、約款第３１条第２項に規定する検査に合格し、引渡を受けた出来形部分に相応する工事請負代金額から前払金、中間前払金、部分払金又は当該工事請負契約により発生する発注者の請求権に基づく金額を控除した額とする。

　　ただし、当該工事請負契約が解除された場合においては、約款第４９条第１項に規定する出来形部分の検査に合格し、引渡を受けた出来形部分に相応する工事請負代金額から前払金、中間前払金、部分払金及び当該工事請負契約により発生する違約金等の発注者の請求権に基づく金額を控除した額とする。

　　なお、契約変更により請負代金額に増減が生じた場合は、債権譲渡承諾依頼書４．（１）及び（４）の金額は変更後の金額とする。

５．債権譲渡人及び債権譲受人は、債権譲渡契約を締結した場合は、速やかに連署にて発注者に債権譲渡通知書を提出すること。

６．当該譲渡債権は、債権譲受人の債権譲渡人に対する当該工事にかかる貸付金及び保証事業会社が当該工事に関して債権譲渡人に対して有する金融保証にかかる求償債権を担保するものであって、それら以外の債権を担保するものではないこと。

７．債権譲渡人及び債権譲受人は、譲渡債権について、他の第三者に譲渡し若しくは質権を設定しその他債権の帰属並びに行使を害すべき行為を行わないこと。

８．保証事業会社が有する金融保証にかかる求償債権の担保に関しては、債権譲受人が責任を持って行うこととし、発注者は関与しないこと。

様式第５号（第１０条関係）

第　　　　　号

　　年　　月　　日

（債権譲渡人）　　　　　　　　　殿

（債権譲受人）　　　　　　　　　殿

大野市長　　　　印

債権譲渡不承諾通知書

　　　　　年　　月　　日に提出された下記１記載の工事にかかる債権譲渡承諾依頼については、下記２記載の理由により承諾できません。

記

　１　（１）工事名

　　　（２）工事場所

　　　（３）契約締結日　　　　　　　年　　月　　日

　２　承諾しない理由

様式第６号（第１６条関係）

融資実行報告書

　　年　　月　　日

大野市長　　　　殿

債権譲渡人　住所

借入人　氏名　　　　　　　　　実印

債権譲受人　住所

貸付人　氏名　　　　　　　　　実印

　債権譲渡人が貴殿に対して有する下記債権の譲渡につき　　　　年　　月　　日付けでご承諾いただきましたが、債権譲渡人と債権譲受人との間において当該譲渡債権を担保とする金銭消費貸借契約を　　　　年　　月　　日付けで締結し、当該契約に基づき債権譲受人は債権譲渡人に対して、金銭を貸し渡し、債権譲渡人はこれを借り受けて受け取りましたので、債権譲渡人と債権譲受人とが連署のうえ報告します。下記工事請負代金につきまして、今後は債権譲受人の下記振込口座にお振込下さい。

　なお、本件融資に際し、債権譲渡人は債権譲受人に当該工事における下請人等への支払状況及び支払計画に関する書面を提出し、債権譲受人はこれを確認しました。

記

［譲渡債権の表示］

１．工事名

２．工事場所

３．工期　　　自　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　至　　　　　年　　月　　日

４．　（１）請負代金額　　　金　　　　　　円

（ただし、契約変更により増減が生じた場合は、変更後の額による）

　　－（２）前払金額　　　　金　　　　　　円

　　－（３）中間前払金額

　　　　　　及び部分払金額　金　　　　　　円

　　　（４）債権譲渡額　　　金　　　　　　円（　　　　年　　月　　日現在見込み額）

（ただし、契約変更により増減が生じた場合は、変更後の額による）

［振込口座］

　１．振込希望金融機関名

　２．預金の種別、口座番号

　３．口座名義（ふりなが）

様式第７号（第１８条関係）

工事請負代金請求書

　　年　　月　　日

大野市長　　　　殿

債権譲受人

住所

氏名　　　　　　　　　　　　実印

　債権譲渡承諾書（　　　　年　　月　　日付け　第　　　号）にかかる工事請負代金債権について、下記のとおり請求します。

記

１．請求額　　　金　　　　　　　　　円　ただし、　　　　　工事の代金

（内訳）

（１）請負代金額　　　　　　　　　　　　　￥

（２）前払金受領済額　　　　　　　　　　　￥

（３）中間前払金受領済額

　　　及び部分払金受領済額　　　　　　　　￥

（４）履行遅滞の場合における損害金等　　　￥

（５）今回請求額　　　　　　　　　　　　　￥

２．支払口座等

（１）振込希望金融機関名

（２）預金の種別、口座番号

（３）口座名義

　　（ふりがな）

（４）請求者の連絡先

　　住所

　　電話